

新型コロナウイルス感染症予防の為、引き続き下記の対応を取らせて頂いております。皆様には多大なご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

## 記

- ① サービス利用前に 37.5 度以上の発熱や呼吸器症状がある場合は、ご利用を見合わせて頂きます。この場合、解熱後 48 時間経過して体調に異常が無ければ再利用が可能です。
- ② サービス利用中はマスクの着用をお願いします。
- ③ 入所及びショートステイをご利用される方には、施設到着時に抗原検査を実施します。その結果、陽性となった場合はご利用を見合わせて頂きます。
- ④ 入所利用者様のご面会はオンライン面会のみと致します。人数は 3 名までとし、必ずマスクの着用をお願いします。また体調不良の場合はお控え頂けます様、お願いします。
- ⑤ 入所利用者様の外出・外泊は原則不可です。但し、当施設の医師が受診を必要と判断した場合の外出や在宅復帰前提の外泊は可能です。
- ⑥ 家族様による洗濯物の回収、お届けは可能です。取り次ぎは午前 8 時 30 分から午後 4 時 30 分までの間とさせていただきます。

※上記は今後の状況の変化に応じて変更する可能性があります。予めご了承ください。

## ■リハビリ通信



舞台を使って紙芝居を上演しております。舞台を用いると木枠の中に視点が集まりやすくなり一層紙芝居を楽しんで頂くことが出来ております。利用者様からは「懐かしい」という声上がり昔を思い出される方も多くいらっしゃいます。

## ■スタッフブログ

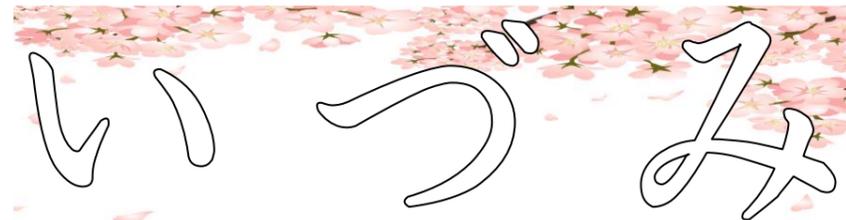
広報誌だけではお伝えする事が出来ない施設での取り組みや、日々の行事等を載せています。是非一度下記 URL にてご覧下さい。

<https://www.kokoro.or.jp/izumi-care/>

## 編集後記

待ちに待った春がやってきました。一日でも早くマスク無しで自由にお花見に行ける時が来ることを願っています。

編集責任者 金子 弘幸



いづみのホームページ <https://www.kokoro.or.jp/izumi-care/>



介護老人保健施設いづみケアセンター



〒355-0807 埼玉県比企郡滑川町和泉 873  
TEL0493-56-6123 FAX0493-56-6124

## 「利用者様に心を寄せて…」



生活ケア部入所課  
課長 高橋真由美

4月1日付で通所課から入所課に異動となり、課長を拝命した高橋真由美です。いづみケアセンターに入職して14年が過ぎました。私が入職した時に小学生だった三男は、昨年5月に子供が生まれ父親になりました。今では世代の違う社会人としての意見を、折に触れて聞かせて貰っています。私が子供と交わす日頃の会話などから察するののか、「お母さんは本当に介護の仕事が好きなんだね。」と言われます。楽しいことは勿論ですが、大変なことも“やり甲斐”に変えて働いていると、子供は見てくれている様です。

私が今日まで介護の仕事が続けられたのは、いづみケアセンターは利用者様を第一に思う心が大切にされているからです。夏の暑い時季だったと思います。施設の役職者が集う会議の中で、「食欲が無くなった入所の利用者様に、如何にして食事を召し上がって頂くか」という話になりました。施設長から「そうした時は自分の家であれば素麺でもサッと茹でて食べるのではないだろうか。皆の家ではどうしていますか。」という言葉がありました。私は「施設は厨房で調理された食事しか提供することが出来ない」と思っていたので、その言葉に衝撃を受けました。高齢者介護施設は、働く者にとっては“職場”でも、お年寄りにとっては“暮らし”です。私たちが利用者様に寄り添い、確りとした根拠の下であれば不可能なことは無いと思わせてくれたエピソードです。

以来、利用者様の笑顔を引き出すことが、私の喜びとなりました。利用者様に心を寄せ、思いを重ねて関わらせて頂くと、目には見えなくても利用者様から掛けて頂くお言葉から「思いが通じている」と感じる時があります。こんなに嬉しいことはありません。そして利用者様の幸せが私の幸せに変わるのです。

私はこれまで通所課の責任者として在宅生活の支援に携わらせて頂きました。入所課では「何らかの理由で在宅生活が困難になった方に対して、ご自宅へ戻る為の支援」をさせて頂きます。積み重ねてきた経験を糧にして、多職種連携を図りながら職責を果たし、この春の日差しの様に明るく温かい施設に育てて参る所存です。今後とも変わらぬご支援を賜ります様、心からお願い申し上げます。

すべては利用者様のために…

# 施設の行事

## 節分の日に豆まき



「鬼は外」「福は内」威勢よくお馴染みの掛け声で始まった節分の豆まき。鬼たちを目掛けて「ソレー!」と力いっぱい投げて無病息災を祈願。鬼たちも利用者様のパワーに圧倒され早くも降参ムード。利用者様の数だけ願いもそれぞれに、今年の節分も大盛況の内に終了しました。

## 雛祭りに甘酒作り

3月3日の雛祭りに甘酒を作りました。利用者様に酒粕を溶かして頂いたり、味見をして頂いてとても美味しく出来ました。出来上がった甘酒とひなあられをお出しすると皆さん大変喜んで下さいました。



## 通所課「利用者様の作品展」



3月14～19日に作品展を行いました。

利用者様が1年の間に作られた沢山の作品を展示し、フロアが華やかになりました。利用者様も作品を懐かしくご覧になり、声を掛け合い見に行かれる姿も見られました。



## 医療・福祉関係者モニター会を開催しました



3月17日と18日の二日間「医療・福祉関係者モニター会」を開催しました。いづみケアセンターが在宅復帰に取り組み、利用者様の「家に帰りたい」という思いを実現できた事例を複数紹介させて頂きました。ご参加頂き有難うございました。

今後とも宜しくお願い致します。

## 埼玉県介護老人保健施設協会会長表彰を受賞しました

3月5日に大宮のソニックシティで開催された第26回埼玉県介護老人保健施設大会で職員3名が会長表彰を受賞しました。島田ゆかりさんと馬場裕美さんは永年勤続表彰、森田和弘さんは特別表彰を受賞しました。森田和弘さんは陸上競技のアスリートとして数多くの大会に出場し、輝かしい成績をおさめました。

写真左から  
島田ゆかりさん（介護支援課長 介護支援専門員）

森田和裕さん（通所課 介護職）  
※知的障がい者のマラソン世界記録保持者

馬場裕美さん（通所課主任 介護福祉士）



## 介護職員の紹介動画を作成しました



この度、介護職員の紹介動画を作成しました。介護老人保健施設の介護の仕事を知りたい方、楽しく仕事がしたいと思っている方はホームページに掲載致しましたので是非ご覧ください。下記 URL 若しくは「いづみケアセンター」で検索して下さい。

<https://www.kokoro.or.jp/izumi-care/>